

とうきょう すくわくプログラム実践報告

所在	台東区浅草橋2-23-5
園名	浅草橋保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

楽しく体を動かしながら、自分や友達の体の使い方を知り（探り）動きの可能性に気付く

<テーマの設定理由>

- ・サッカー・ヒップホップダンス共に関心を示しており、体力向上を図るため、楽しく体を動かして遊ぶ活動を取り入れた。また遊戯室が広く、ボール遊び・ダンス共に子ども達が伸び伸びと活動できるため。
- ・体の使い方を知り、自分自身や友達の動きの可能性に気づき、様々な技に挑戦することで自信をもって体を使えるようにするため。

2. 活動スケジュール

- ・サッカー ①5/14（水） ②6/11（水） ③6/25（水） ④9/17
⑤10/22（水） ⑥11/19（水） ⑦12/17（水）
⑧1/14（水） ⑨2/18（水）
- ・ヒップホップダンス ①5/23（金） ②6/13（金） ③6/27（金）
④7/11（金） ⑤7/25（金） ⑥9/12（金）
⑦9/19（金） ⑧10/3（金）
⑨10/10（金） 4、5歳児のみで1時間
⑩1/23（金） ⑪2/13（金）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・サッカー教室 : ボール人数分、ゴール、ビブス
- ・ヒップホップダンス教室 : Bluetoothスピーカー

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・サッカー教室 4歳児（9：30～10：10） 3歳児（10：15～10：45）
5歳児（10：50～11：30）
線に並んで挨拶をする、ボールを手でキャッチする、ボールをゴールに向かって蹴る、2チームに分かれて1～3個のボールを使いゲームをする。
- ・ヒップホップダンス教室 4歳児（9：30～ 10：10）3歳児（10：15～10：45）
5歳児（10：50～11：30）
 - ・音楽に合わせて柔軟をする、講師の先生のステップや手足の動きを真似て動かす、2チームに分かれてその日に覚えた踊りを披露したり、その様子を見たりする。
 - ・4、5歳児は運動会のリズムダンスの振り付けを講師に依頼し、運動会に向けて指導を受けた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・サッカー教室 : 講師の話を聞き並んだり、次にやることを聞いて取り組もうとしたりしていた。講師に親しみをもち、講師がボールを指で回したり技を見せたりするたびに喜んでいて。ボールをゴールに向かって蹴り、ゴールに入ったときはジャンプをしたり、笑顔になったりして大喜びしていた。2チームでゲームをする際には友達がゴールを決めるとチームの友達も一緒に喜んでいて。5歳児は手を使おうとする児がほとんどおらず、ルールを守りながら行っている。悔しい思いをしている児に対して「悔しいね、次頑張ろう。」「よく頑張ったね。」と保育者や講師が声をかけると切り替えながら楽しんでいた。
- ・ヒップホップダンス教室：初めて行うターンやステップも講師の動きを見て一生懸命真似ようとする姿があった。前回踊った踊りも曲を聞いて自分で思い出して踊ろうとする。うまく踊れて保育者や講師に褒められると笑顔になっていた。手を大きく広げる、動かすなど、簡単な言葉での指導に素直に体を動かそうとしていた。流れを覚えていて、ストレッチやステップなど「次○○でしょ」などと講師に投げかけたり、「あれやりたい」とリクエストしたりする意欲的な姿もあった。
4、5歳児は運動会のリズムダンスの振り付けをお願いし、指導を受けた。難しい動きにも講師が楽しく教えてくれることで挑戦しようとし、自信をもって取り組んでいた。

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・ 外部の専門的な講師から教わることで、保育者が伝えるより専門的な技能が身についた。
- ・ 保育士等以外の講師から褒められる機会があることで子供の自信につながった。
- ・ 講師に親しみを持つことで、信頼できる大人との関わりがもてた。
- ・ 運動会で自信をもって踊る姿につながった。
- ・ 個人個人の得意不得意な動きに気付けた。
- ・ 探究活動で行ったことを日常の保育に取り入れると活動の延長線上となり子供の学びとなっ

